

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(4月1日～4月19日の情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています。4月1日から4月19日までに15522件の検査がおこなわれました。基準を超えたものは1件でした。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

1. 検査結果の抜粋(4月1日～4月19日の間に検査された検査結果)です。

※検査を全国の都道府県で実施されていますが、ここで公表するのは福島県に隣接する県、もしくは、その週に基準を超えたものが発表された都道府県とします。

	都道府県名	検査数	基準超 合計	今週基準を 超えたもの		都道府県名	検査数	基準超 合憲	今週基準を 超えたもの
福島県	農産物	20	0	—	栃木県	農産物	115	0	—
	畜産物	794	0	—		畜産物	1435	0	—
	水産物	3	0	—		水産物	7	0	—
	牛乳乳児用食品	0	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	45	0	—		飲料水、その他	0	0	—
宮城県	農産物	22	0	—	群馬県	農産物	14	0	—
	畜産物	924	0	—		畜産物	1753	0	—
	水産物	112	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	0	0	—		牛乳乳児用食品	2	0	—
	野生鳥獣肉	0	0	—		野生鳥獣肉	0	0	—
	飲料水、その他	0	0	—		飲料水、その他	0	0	—
茨城県	農産物	13	0	—	山形県	農産物	13	0	—
	畜産物	1460	0	—		畜産物	1090	0	—
	水産物	8	0	—		水産物	0	0	—
	牛乳乳児用食品	2	0	—		牛乳乳児用食品	0	0	—
	野生鳥獣肉	14	0	—		野生鳥獣肉	1	1	クマ
	飲料水、その他	1	0	—		飲料水、その他	1	0	—

表2. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2018年 4月 1日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 4月 8日	98.5%	1.5%	0.0%
2018年 4月15日	98.9%	1.1%	0.0%
2018年 4月22日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 5月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月13日	100%	0.0%	0.0%
2018年 5月20日	98.0%	2.0%	0.0%
2018年 5月27日	98.3%	1.7%	0.0%
2018年 6月 1日	100%	0.0%	0.0%
2018年 6月 8日	98.4%	1.6%	0.0%
2018年 6月15日	99.2%	0.8%	0.0%
2018年 6月22日	99.1%	0.9%	0.0%

2018年 6月29日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月 6日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月13日	98.1%	1.9%	0.0%
2018年 7月20日	100%	0.0%	0.0%
2018年 7月27日	100%	0.0%	0.0%
2018年 8月 3日	100%	0.0%	0.0%
2018年 8月17日	100%	0.0%	0.0%
2018年 9月14日	99.5%	0.5%	0.0%
2018年 10月 5日	99.6%	0.4%	0.0%
2018年 11月 9日	99.7%	0.3%	0.0%
2018年 12月7日	99.8%	0.2%	0.0%
2018年 12月14日	100%	0.0%	0.0%
2018年 12月21日	99.1%	0.9%	0.0%
2019年 1月11日	99.6%	0.4%	0.0%
2019年 2月 1日	99.7%	0.3%	0.0%
2019年 2月 8日	98.7%	1.3%	0.0%
2019年 3月 1日	99.7%	0.3%	0.0%
2019年 3月15日	99.7%	0.3%	0.0%
2019年 3月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年 3月29日	100%	0.0%	0.0%
2019年 4月19日	100%	0.0%	0.0%
2018年4月平均	99.1%	0.1%	0.0%

基準を超えた沿岸魚はみつきりませんでした。これで190週連続(3年)となります。福島県の3検体の水産物(海洋)が検査されました。今週の結果で、放射性セシウムが検出された魚介はありませんでした。

(2)検査について基準を超えたものについて

①山形県で捕獲された野生鳥獣について基準値を超える放射性セシウムが検出された旨、公表されました。

ア. 山形県上山市:クマ(160 ベクレル/キログラム)

山形県で捕獲されたクマ肉については、すでに出荷制限措置がとられているため市中には出回っていません。

(3)京都の空間線量(4月1日～4月19日)

京都市の空間線量は(16.9メートル地点)、0.038～0.060 マイクロシーベルト/1時間、1メートルの高さの推計値は0.044～0.072 マイクロシーベルト/1時間と

なっています。福島市の空間線量は(2.5メートル地点)は0.068～0.073 マイクロシーベルト/1時間となっています。3月に入ってから、福島県の空間線量が落ちてきています。0.070 レベルだと、日本でも高い空間線量となっている岐阜県や

山口県と変わらない値です。

3. 関連情報

(1)牛の出荷制限解除 岩手、福島など4県

国の原子力災害対策本部は28日、東京電力福島第1原発事故による牛の出荷制限を、岩手、宮城、福島、栃木の4県で解除した。直近の1年間で、放射性セシウムの検出量が国の基準値(1キロ当たり100ベクレル以下)を大きく下回っていることが確認できたため。

月齢12カ月未満の牛は対象外。また、福島県の南相馬市や大熊町など7市町村では、放射線量が高く住民が避難を続ける「帰還困難区域」があり、出荷できない場所が残る。他の3県では全域で出荷が可能となった。

これまでも、県がえさの管理を徹底し、全頭検査で国の基準値を超えないなどの条件をクリアすれば出荷が可能だった。今後はこうした条件はなくなるが、4県ともに全頭検査は続けるという。

以上